

市町村名		宜野座村					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【中期的検証事業】							
事業名	リバーパーク整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(2)-工 観光客の受入体制の整備	
担当部課名	建設課 観光商工課	事業実施年度	平成24年度	～	平成29年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	
事業内容	観光振興を図るため、漢那福地川周辺の豊かな自然を活かした観光拠点施設の整備を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・ 執行額 【単位:千円】		～H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	合計	
	実績報告上の総事業費(最終)	199,326	220,754	1,447,264	393,747	2,261,091	
	A. 予算現額	199,326	287,146	1,427,824	393,747	2,308,043	
	B. 執行済額	199,326	220,754	1,427,824	393,747	2,241,651	
	うち 交付金充当額	159,459	176,602	1,142,259	314,997	1,793,317	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	76.9%	100.0%	100.0%	97.1%	
執行状況の説明		・H27年度からH29年度は施設整備を実施したが、設計変更等により一部を繰り越し、H30年度に整備が完了した。 ・最終的な執行率は97.1%となり、概ね計画的に執行できた。					
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況				
			～H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
	H24 パークゴルフ場の整備	目標	18ホール整備 調査測量等実施				
	H25 無知番地の用途廃止及び財産取得に必要な調査測量等を実施	実績	18ホール整備 調査測量等実施				
	リバーパーク等検討委員会の設置、開催 無知番地の土地購入	目標		委員会開催 国有地購入	委員会開催		
		実績		委員会開催 国有地購入	委員会開催		
観光拠点施設整備等	目標			建築実施設計 土木実施設計 土木工事	工事(建築/電気設備/機械設備)	整備完了	
	実績			建築実施設計 土木実施設計 土木工事	工事(建築/電気設備/機械設備)	整備完了	
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況				
			～H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
	H24 パークゴルフ場の整備(18ホール)	目標	18ホール整備 調査測量等実施				
	H25 無地番地の用途廃止及び財産取得に必要な調査測量等を実施(作業項目数5)	実績	18ホール整備 調査測量等実施				
	・リバーパーク整備等検討委員会を設置し、漢那福地川周辺と宜野座村の観光振興に向けた施策について取りまとめる。 ・無地番地の村有地化を図る。 ・漢那リバーパーク整備計画施策の作成	目標		委員会開催 国有地購入	施策作成		
		実績		委員会開催 国有地購入	施策作成		
・ゲートゾーン(観光センター及び周辺公園整備など)の整備進捗率	目標			整備進捗率 (27.1%)	整備進捗率 (84.8%)	整備完了	
	実績			整備進捗率 (11.2%)	整備進捗率 (84.8%)	整備完了	

事業完了後の取り組み						
事業完了後の成果目標	成果目標(指標) ■ 中期にわたる事業効果 □ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況				
		H30年度	R1年度	R2年度		R3年度 目標/発現年度
	年間利用客数	目標	181,000人	-	-	-
	実績	201,944人	183,709人	141,866人	-	139,312人
状況説明	<p>【H30年度】 ・年間利用客数については、目標値181,000人に対し、リニューアルオープンの効果や、県内だけでなく台湾など国外メディアに取り上げられたことからインバウンドの利用が見られるなど、実績値201,944人となり、約112%の達成率となった。</p> <p>【R1年度】 ・年間利用客数については、実績値183,709人となった。施設周辺での道路改良工事などにより駐車場の確保に影響が出たことや、1月以降新型コロナウイルスの影響により国際便が減便されるなどの影響から減少となったと考えられる。</p> <p>【R2年度】 ・年間利用客数については、実績値141,866人となった。新型コロナウイルスの影響により、沖縄県では3度の非常事態宣言発令が出ており、県内外自粛や県外観光客来訪自粛による影響から大幅な減少となったと考えられる。</p> <p>【R3年度】 ・年間利用客数については、実績値139,312人となった。前年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響による自粛が続き、回復することなく大幅な減少になったと考えられる。</p>					
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)			
<p>【H30年度】 ・H30年度は、リニューアルオープンという機会を県内外のメディア等で取り上げられるなどにより、想定以上の利用客が訪れた。</p> <p>【R1年度】 ・R1年度は、メディアでのPR等によりH30と同等程度の利用が見込まれたが、周辺での道路工事の影響により一時的に駐車場が制限されたことや、年度末の新型コロナウイルスの影響によりH30実績より減少となった。</p> <p>【R2年度】 ・R2年度は、新型コロナウイルスの影響(外出自粛、県外からの来報自粛)により利用客の大幅な減少となった。</p> <p>【R3年度】 ・R3年度も新型コロナウイルスの影響により、利用客の回復なく減少となった。</p>			<p>【H30年度】 ・メディア等でのPRが効果的であったことから、今後のPR方法について取り入れつつ、県外・国外観光客への効果的なPRを計画し展開する。</p> <p>【R1年度】 ・新型コロナウイルスの影響による渡航自粛や、外出自粛の影響が懸念されるが、引き続きPR活動等を行うとともにコロナ対策を講じながら、利用客の誘客に取り組む必要がある。</p> <p>【R2年度】 ・昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響が懸念される中、コロナ対策を講じて、利用客が安心・安全に利用できる誘客に取り組む必要がある。</p> <p>【R3年度】 ・新型コロナウイルス感染症対策を行いながらできる事業を実施した。コロナ対策はもちろんのこと、コロナと向き合った誘客に取り組む必要がある。</p>			
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)						
<p>【H30年度】 ・施設の利用客数向上を目指すためには、県内・外向けPR及び国外向けPRが必要である為、県内メディアの活用や、航空機の国内、国際線での機内誌への広告展開を行い、当施設への誘客促進を図る。</p> <p>【R1年度】 ・R2年度より、施設全体の運営を一元管理するため道の駅「ぎのぎ」の所管を観光商工課に統一し、引き続きPR活動等を行うとともに、外国語放送(案内)などのソフト面の充実化と、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に取り組みながら、利用者の安心、安全且つ魅力的な施設運営を展開する。 また、駐車場不足が喫緊の課題となっているため、平成23年度策定のリパーパーク基本計画を見直し、道の駅周辺の整備について検討を進め、駐車場の確保など、引き続き施設及び周辺一帯の活性化に取り組む。</p> <p>【R2年度】 ・R3年度も新型コロナウイルス感染症拡大が蔓延し、外出自粛・県外からの渡航が制限される中、道の駅「ぎのぎ」施設のコロナ感染防止対策い取り組みながら、利用者の安心・安全を確保し、コロナ化におけるSNS等を利用した誘客に向けての情報発信などを行い、施設運営を展開する。</p> <p>【R3年度】 ・今後も有効的なプロモーションのPR活動を行い、withコロナ化に対応できる安心・安全な観光客誘致を行うイベントなどに取り組む。また、国際交流員の人材雇用で国外からの利用者へも対応できるような運営を展開する。</p>						